



田瀬ダム水源地域ビジョン推進協議会広報誌・平成 26 年 10 月号

猿ヶ石川通信

Vol.9

第 1 面 トピックス	田瀬ダム移転者のつどい開催
第 2 面 ニュースファイル	田瀬のみのりまつり、遠野市立土淵小学校水源の森づくり
第 3 面 インタビュー	宮守町婦人団体協議会会長：多田 静子さん、野鳥コーナー
第 4 面 インフォメーション	田瀬湖ウォーキング、ダム湖サミット、ふれあいコンサート、他

猿ヶ石川流域トピックス



式典の前に、参加者一同で記念写真が撮影されました。

田瀬ダム完成60周年記念プロジェクト

田瀬ダム移転者のつどい開催

移転者54名が望郷躍進の碑前で感動の再会 子供達の碑文朗読と太鼓の響きが胸を打つ

県内外から
移転者が集う

9月7日(日)、田瀬湖つり公園周辺にて、「田瀬ダム移転者のつどい」が開催されました。

田瀬地域の住民が中心となり実行委員会を発足し、移転者の連絡先の掘り起こしなどの困難な作業

を経て、この日を迎えました。この日参加した移転者は、遠くは八戸市からの参加者も含め54名。中には、車いすの方や、移転当事者ではなく、その子孫の参加もあり、60年という歳月の重みを感じました。



望郷躍進の碑の碑文を朗読する子ども達。

田瀬の子供達が
碑文を高らかに朗読

移転者のつどいでは、主催者挨拶として、同実行委員長の内館篤夫氏が挨拶。また、来賓挨拶として、国



田瀬の子供達が元気な太鼓を演奏しました。

される「清流田瀬子ども太鼓」。子供達の躍動する姿に、移転者達から惜しみない拍手が送られました。また、大人達の「激流太鼓」が、田瀬湖の山々に響き渡る力強い太鼓を演奏し、郷土への熱い思いが参加者の胸を打ちました。

懇親会では
思い出話に花が咲く

式典の終了後は、田瀬湖つり公園へ移動しての懇親会。田瀬地区の住民が各テーブルを回りながら、思い出話に花を咲かせていました。

また、会場には田瀬ダムにて水没する前の田瀬地区の風景写真が展示された他、出席者には実行委員会が制作した記念誌「郷愁」も配布されました。



懇親会では懐かしい人との再会が…。

土交通省北上川ダム統合管理事務所長の西條一彦氏等が祝辞を述べました。挨拶の後には、地元田瀬地域の小学生女子と中学生男子が、「望郷躍進の碑」の碑文を読み上げ、参加者は移転当時に郷土の未来へ託した想いを新たにしていきました。

その後、今では田瀬地区の代表的な芸能となつていく太鼓の披露。まずは、田瀬地区の小学生で構成

猿ヶ石川流域ニュースファイル



物産販売のテントには大勢の来場者が集まった。



宮守から下郷さんさ踊りも参加しました。



名物のキノコを買い求める来場者。



ダム水没前の田瀬の写真も展示されました。



ドングリを夢中になって拾う子ども達。



校舎の裏にある畑にドングリが播かれました。

田瀬のみのりまつり 盛大に開催される

9月28日(日)、「田瀬のみのりまつり」が田瀬振興センターにて開催されました。

今年はこのイベントの目玉となっている田瀬産のマツタケの生育が不調で、開催が危ぶまれましたが、関係各位の努力のもと、快晴の天候にも助けられ、約650名が来場し、実りの秋の産物を買って求めています。

今年には田瀬ダム完成60周年記念プロジェクトとして、出店に宮守コーナーも特設。宮守の地ビールや名物のわさび団子の他、宮守の野菜や手づくりパンなども販売されました。

午前10時の開会前には、カウンタダウンが行われ、のろしが青空に号砲をとどろかせて華やかな開会。開会行事として、主催者挨拶などが行われました。

開会行事の後には、アトラクションが始まりました。はじめに、これも田瀬ダム完成60周年記念として、田瀬地区の隣集落となる宮守町下郷地区の郷土芸能である「下郷さんさ踊り」が総勢20名で参加。きらびやかな衣装の女性の踊り手が優雅に、また、男衆が太鼓を打ち鳴らしながらの踊りを披露。初めて見るという田瀬地区の方々も含め、来場者はその華やかさに目を奪われていました。

宮守町の郷土芸能の次

は、ご当地田瀬地区の出番。各種イベントに引張りの太鼓の登場です。最初は、子供達による「清流田瀬子ども太鼓」。大勢の来場者が取り囲む中、息の合った太鼓を響かせました。そして「田瀬激流太鼓」

が、大太鼓・中太鼓・小太鼓に分かれての躍動の太鼓を披露。魅了された観衆から、拍手喝采を浴びていました。

イベントではアトラクションの他に、新米の餅米を使った餅つきが行われて、搗きたての餅が振る舞われた他、お楽しみ抽選会も行われ、最後の抽選ではマツタケが当選した方もありました。また、田瀬振興センター

内では、かあちゃんの田舎食堂の他、田瀬ダム建設当時の記録映画の上映、田瀬ダム水没前の風景写真展示も行われました。

遠野市立土淵小学校 水源の森づくり

遠野市立土淵小学校4年生18名は、今年度から遠野市の水源地である琴畑高原を森に再生する活動を行っています。

これはNPO法人遠野エコネットがこれまで「水源の森づくりプロジェクト」として、岩手南部森林管理署遠野支署と協力して行ってきた活動です。この活動を引き継ぐ形で、地元土淵小学校が、環境学習の一環として、毎年4年

生が取り組むことになりました。これまでに、春はミズナラの苗木約60本の植樹を、そして夏には苗木周辺の草刈りなどを行ってきました。

今年3回目の体験学習となる9月30日(火)には、琴畑高原周辺にてドングリ拾いを行い、その後学校の畑にドングリを播きました。

今年はミズナラの実があまり成っていないのですが、子ども達は約30分で千個以上のドングリを拾いました。今回播かれたドングリは、来年度の4年生にその管理を引き継がれることとなります。草刈りなどをしながら、3年後に琴畑高原に植える予定となっています。

猿ヶ石川流域インタビュー



宮守町婦人団体 協議会会長

多田 静江(ただ しずえ)さん

昭和 25 年宮守町下郷地区に生まれ育つ。遠野農業高校を卒業後、神奈川県
の会社に 5 年間勤務。22 歳の時に、宮守町迷岡地区に嫁入り。その後、
福祉関係の仕事をや約 30 年間務める。退職後は長年の夢だった菓子工房
をつくり、クッキーなどのお菓子の他、手作りパンなども焼き、産直等で
販売中。今年の田瀬のみのりまつりでも出店参加した。また、夏の田瀬湖
での E ポートレース大会には、宮守婦人会チームを率いて初参加した。

みのりまつりで 手作りパンを販売

私は生まれが、田瀬の隣
集落の下郷(現・遠野市宮
守町内)なんです。小学校
4 年生の時は、田瀬湖へ遠
足に行くことになってま
した。5、6 年生は砥森山
の登山でした。宮守に
は、田瀬から嫁に来ている
人がけっこういるんです。
だから、私にとって田瀬
は、身近な存在です。

「みのりまつり」には、田
瀬ダム完成 60 周年記念と
いうことで、宮守コーナ
ーの中で私が作っているパ
ンを持って行きました。お
かげさまで、良い席をとっ
てもらったので、完売でき
てほっとしました。「下郷
さんさ」の踊りも、とても
良かったですね。イベント
としての印象は、もっと地
元の人達とお話する機
会があればいいかなあと
思いました。

E ポートレースは 楽しかったですよ

夏に初参加した、田瀬湖



E ポートレースに参加の宮守婦人会チーム。

での E ポートレース大会
は、みんな楽しかったと
言っていました。カップの衣
装で、パフォーマンス賞も
いただきましたしね。

ほとんどの人が、ボート
に乗ること自体が初めて
だったんですよ。私達の
前に、子供の会のチームが、
帰って来られなくなった
んですよ。私が舵取り役
をやったんですけど、ちゃ
んとコースを回ってまっ
すぐ帰って来れたので、ま
ずまずだったのかなあと
思いますよ。

会場に着いたら、「○○
ボート部」というチーム
もあって、みんなビックリ
したんですよ。もっと私達
のようなチームが増えれ
ばいいんだと思います。ど
うも競技のイメージが強
いですよね。参加費も 1

チームが 1 万円というの
は高いですね。T シャツと
かはいらないので、もっと
参加しやすくしたら良い
のになあと思いました。

集まった時は 楽しいことをやろう

婦人会長は 3 年目です。
私が会長になる時に、宮守
の婦人会は、鱒沢・迷岡・達
曾部の 3 地区だけになっ

て、会員も半分減ってし
まったんですよ。補助金も
無くなってしまいました。
それでも私は、「みんなが
集まった時は楽しいこと
をやろう」と考えたんで
す。今年の研修は、みんな
で SL に乗るんですよ。
けっこう参加者も多くな
りました。来年も、E ポー
トレースに参加したいの
で、ぜひ、田瀬の婦人達と
対決したいですね。

自然ウォッチング 猿ヶ石川の野鳥 File No. 9



アオサギ(サギ科 全長:93cm)

日本で見られるサギの中で最も大きく、羽を広げると人の背丈以上
になります。優雅な飛び方に似合わず、ギャーとびっくりするような声
で鳴きます。池の魚を捕ることでいやがられますが、他にカエル、イモ
リ、エビ、カニ、昆虫などを食べます。(写真提供:とうわ野鳥の会)

猿ヶ石川流域インフォメーション

11/2

紅葉の田瀬湖畔で爽やかな汗を！ 田瀬湖ウォーキング 2014

秋深まる田瀬湖畔で、自然を楽しみながら一緒に歩きましょう。初めての方でも大丈夫。地元のウォーキング協会スタッフが、無理のない歩き方を指導してくれます。この頃、少しお腹が出て来たかな～という、日頃の運動不足の方も、この機会にぜひご参加下さいませ。

コースは、田瀬湖の名所を巡る 10 km コースと、向い田瀬の自然を満喫できる 5 km コースの 2 つから選択してください。事前に、所定の用紙にて申込となりますので、必要な方はお問い合わせを。また、希望者には花巻と遠野方面からの送迎バスもありますので、こちらも事前に申込下さい。ウォーキング終了者には、完歩証の授与と美味しい豚汁が待っています。

【日時】平成 26 年 11 月 2 日(日)午前 9 時(受付 8 時 30 分～)

【集合】花巻市東和町田瀬振興センター(旧田瀬中学校)

【参加費】300 円(保険料他 / 高校生以下無料)

【持ち物】歩きやすい服装・健康保険証(写)・コップ・雨具・タオル・帽子・昼食・飲料

*雨天決行

*参加、送迎バス希望者は事前申し込みが必要です。

【問合せ】

実行委員会事務局
(☎ 0198-64-2250 千葉)



紅葉の田瀬湖。

11/6

水・地域・人 明日へつなぐ テーマに みちのくダム湖サミット in 田瀬

このサミットは、東北 6 県の国直轄管理ダムの水源地域の活性化と、観光・学習などの交流の場となることを目的に開催されるものです。6 回目となる今年は、完成して 60 年を迎える田瀬ダムに近い、遠野市宮守町の「みやもりホール」が会場となります。

第 1 部は、国土交通省水管理・国土保全局河川環境課流水管理室長の若林伸幸氏が、最近の河川環境行政の話題について基調講演します。第 2 部は、活動報告として、岩手県内の各ダム水源地域ビジョンの活動を中心に、河川やダムを中心とした様々な活動が報告されます。第 3 部は、「水・地域・人 明日へつなぐ」をテーマにサミットが行われます。コーディネーター役は、元岩手大学学長を務めた平山健一氏。パネラーには秋田県仙北市長、遠野市長、花巻市長等が参加。基調講演をした若林氏も、アドバイザーとして参加します。

会場のロビーにはダム水源地域ビジョンの紹介や地元の遠野市を紹介する展示コーナーもあります。参加は自由となっていますので、お気軽にご参加下さいませ。

【日時】平成 26 年 11 月 6 日(木)午後 1 時～5 時

【会場】みやもりホール(遠野市宮守町 ☎ 0198-67-3133)

【内容】挨拶 / 基調講演 / 活動報告 / サミット

【問合せ】(☎ 0198-62-2111 遠野市建設課)

11/8

東和発電所運転開始 60 周年記念 J-POWER ふれあいコンサート

今年 12 月に、運転を開始してから 60 年となる東和発電所が、日頃の理解と協力に感謝の気持ちを込めて、「ふれあいコンサート」を開催します。

コンサートの出演者は 3 名。ソプラノ歌手の江原陽子さん、NHK「うたってゴー」に歌のお姉さんとしても出演した歌手です。その他に、ジュネーブ国際音楽コンクール公式伴奏者の経験を持つピアニストの古澤幹子さん。東京フィルハーモニー交響楽団に在籍していたフルート奏者の糸井正博さんが出演します。芸術の秋、豊かな歌声と音色をお楽しみ下さい。

【日時】平成 26 年 11 月 8 日(土)開演:午後 6 時

【会場】花巻市東和総合福祉センター

【出演者】江原陽子(ソプラノ歌手)、古澤幹子(ピアノ)、糸井正博(フルート)

【演奏曲】「星めぐりの歌」「潮騒のメモリー」「さんぽ」他

【入場料】無料(入場整理券必要)

【問合せ】東和発電所 ☎ 0198-44-2111

Q

「流域」の他、「水系」という言葉もありますか？

川 豆 辞 典

A

「水系」とは、ある川とその川に合流する他の川や湖沼や池、また、その川から分岐する川を含めた水の流れ全体をいいます。「流域」が空から降った雨の流れる範囲の面的な広がりを表すのに対して、「水系」は水の流れの線的なつながりを表しています。北上川の支流である猿ヶ石川は「北上川水系」の一部に含まれます。「猿ヶ石川水系」と呼ぶ場合は、遠野の山々の水源地から、北上川への合流点までの沢や池を含む全ての水の流れを表します。

編集後記

田瀬湖釣り公園駐車場の近くに「望郷躍進の碑」が建っています。その中の一文、「いつの日か訪れるであらうわれらの子孫達よ、我々が深い悲しみの中で、多くの隣人、そして自然、祖霊と別れて故里を去ったかを知ってもらわなければならぬ。」

9 月 7 日に開催された「移転者のつどい」では、この碑文を田瀬の子供が読み上げました。深い悲しみを乗り越え、地域の「躍進」を願った想い。地域は多くの課題を抱えています。碑に込めた想いを新たに胸に刻んだ一日でした。(千葉)

田瀬ダム水源地域ビジョン推進協議会通信 Vol.9

「猿ヶ石川通信」平成 26 年 10 月号

発行日：平成 26 年 10 月 16 日

発行：田瀬ダム水源地域ビジョン推進協議会

☎ 028-0123 花巻市東和町田瀬 39-1-3

☎ 0198-44-5211

編集：一般社団法人いわて流域ネットワーク

問合せ：☎ & FAX 0198-64-2250 (千葉)

E-mail:pahaya@tonotv.com